

「スペシャルオリンピックス日本」へ賛助金贈呈 ～大会ごとに広がる支援の輪～

ソニー生命保険株式会社（社長 萩本 友男）は、「スペシャルオリンピックス日本」を支援しています。このたび、2019年2月12日に「スペシャルオリンピックス日本」の有森 裕子理事長を本社へお招きして、賛助金の贈呈式を行いました。

活動の趣旨

当社では、多くの社員がボランティア活動の価値を見出して社会貢献活動を行っています。そのひとつとして、ひとりでも多くの知的障がいのある方々の自立と社会参加をサポートし、多様性を認め合う優しい社会の形成に寄与していきたいという思いのもと、「スペシャルオリンピックス日本」を支援しています。

2018年度は、500万円の賛助金を贈呈しました。また、2018年に開催された「2018年 第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」には、延べ約600名の社員がボランティアスタッフとして参加しました。さらに、2020年2月に開催される「2020年 第7回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・北海道」へのボランティア参加も計画しており、毎年支援の輪を広げています。

こうした大会への参加以外にも、各地区組織の運営の支援、日常のスポーツトレーニングでのコーチやボランティアとしての活動やチャリティーイベント開催時の支援など、社員自らかかわることのできることを見つけ、積極的に活動を支援しています。



（左から）当社代表取締役社長 萩本、スペシャルオリンピックス日本 有森理事長、当社執行役員副社長 嶋岡

～ 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 (<http://www.son.or.jp/>) ～

「スペシャルオリンピックス」とは、知的障がいのある方々に年間を通じて日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。日本においては「公益財団法人スペシャルオリンピックス日本」が国内本部組織としてその活動を行っています。

以上